

大好評!

在圃性良好! 収穫幅が広い!
銚子地区の6月出荷はこれで決まり!



たちかぜキャベツ



「たちかぜ」 従来品種
球色鮮やかで揃い良い「たちかぜ」



「たちかぜ」 従来品種
収穫開始後も結球スピードが緩やかな「たちかぜ」
は従来品種のように過熟になりにくい。

6月出荷キャベツ ～銚子地区の現状～

春キャベツの大産地である千葉県銚子市。同地の6月どりキャベツは初夏の温度上昇期にあたります。12～1月に播種したキャベツが急激に結球してしまい、収穫が間に合わなくなるのが課題です。「たちかぜ」は結球速度が比較的緩やかで収穫作業に追われる心配が少ない品種です。導入した生産者からは「収穫期にゆとりがもてる。適期に収穫できるので品質も良好」と高い評価を得ました。また、べと病に強い点も評価されています。

在圃性良好! 収穫遅れが少ない

「たちかぜ」は結球内部が充実しながら肥大する充実肥大型の品種です。M、L、2Lのいずれのサイズでも球締り良好です。熟期は6月どりで、従来品種よりも4～5日収穫が遅く、結球速度が比較的緩やかなので在圃性にたいへん優れています(極端な収穫遅れは裂球の原因となりますので注意してください)。

暖地6月どりに最適! 銚子地区の作型

- 【播種】 12月中旬～2月中旬
- 【定植】 3月上旬～4月中旬
- 【収穫】 5月下旬～6月下旬

【栽培の注意点】

抽苔やわき芽の発生は従来品種よりも少ないですが、無理な早摘きは尖り球発生の原因となります。早くても11月25日以降に播種してください。

「たちかぜ」6月どりの栽培ポイント

- ★「たちかぜ」は草勢がやや旺盛な品種です。栽培にあたっては「たちかぜ」に適した栽培管理を行ってください。
- ・従来品種より施肥量を20%程度減らす。また、肥料の多い圃場で6月収穫を狙う場合は元肥をなしとする。追肥量はチッソ成分量で6kg/10aとする。
- ・過度の密植は避ける。推奨栽植株数は4,500～5,000株/10a。
- ・黒腐病の発生が多い圃場は登録農薬などで予防につとめる。

貴産地でも「たちかぜ」を是非ご選択ください! (詳しい作型はP17へ)